

# はじめに

飲酒運転が厳罰化されるようになりましたが、飲酒運転をする人はあとを絶ちません。それも何回もくりかえす人がいます。

飲酒運転防止の啓発や大規模な取締りがありながらも飲酒運転がなかなか減らないことの背景に、アルコール依存症をはじめとする飲酒問題が控えていることが推測されています。飲酒運転違反歴のある男性ドライバーのほぼ二人に一人がアルコール依存症の疑いがあった、という調査もあります。

このパンフレットは飲酒運転が引き起こす不幸な事故が無くなることを願って作成いたしました。

是非お読みください。

## 目次

はじめに .....	1
お酒を飲むと .....	2
節度ある適度な飲酒 .....	3
不適切な飲酒が引き起こす様々な問題 .....	5
飲める体質、飲めない体質 .....	7
アルコール依存症という病気 .....	9
アルコール依存症者の心理 .....	10
アルコール依存症への平均的なプロセス .....	11
飲酒運転とは .....	13
ご家族の方へ .....	14
アルコール依存症からの回復 .....	15



# お酒を飲むと

飲酒するとアルコールによって脳がマヒした状態になります。これが酔いです。複雑な現代社会、誰しもストレスにさいなまれ、適度な酔いがもたらす解放感でほっとしたくなるのも人情です。しかし、度が過ぎると、泥酔、昏睡となり、時に死に至ることがあります。長年、多量飲酒を続けていると身体の病気やアルコール依存症になる危険性があります。

また、「少々なら飲んでも大丈夫」と思って運転すると、判断力や反射神経などが低下しているので、事故を起こしやすくなるのです。

